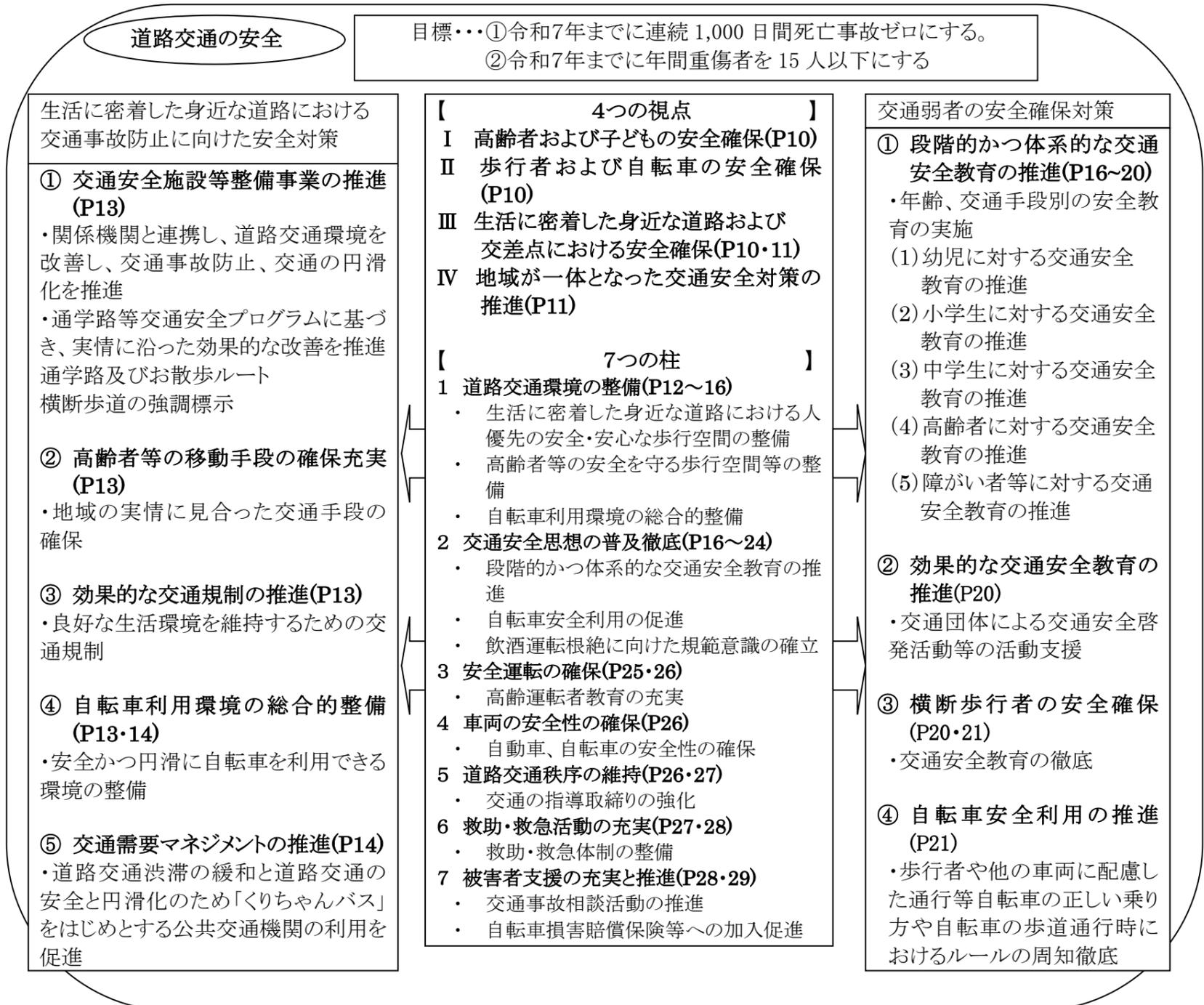


第10次栗東市交通安全計画の目標	
目標	実績
① 平成 32 年(令和 2 年)までに連続 600 日間死亡事故ゼロを達成する。	① 1025 日間、死亡事故ゼロ(平成 28 年 3 月 8 日から平成 30 年 12 月 27 日まで)
② 平成 32 年(令和 2 年)までに年間負傷者数を 300 人以下にする。	② 年間負傷者数 261 人(平成 29 年) →4 年前倒しで達成
目標を達成するために取組みをした対策(主なもの)	
○道路環境整備・・・新設道路:下鉤出庭線、出庭 4 号幹線、岡金勝川 3 号線 歩道整備:荊原緒線 その他:栗東駅前視覚障がい者誘導用ブロック設置、カラー舗装、外側線	
○交通安全教室・・・対象者:幼児・小学生・中学生・高校生・高齢者・障がいのある人	

第10次栗東市交通安全計画からの課題
○ 高齢者の交通事故件数に占める割合は、栗東市の高齢者人口構成比と比べて高くなっている。
○ 子どもの事故の発生割合は、県内平均を上回っている。
○ 自転車事故の発生割合は、県内平均を上回っている。
以上のことから、交通弱者の安全確保、特に自転車利用者の交通安全教育の充実と、高齢者や子どもの安全確保ができる交通安全施設整備が課題である。

第11次栗東市交通安全計画(案) ～ 交通事故のない安全・安心な栗東を目指して ～	
基本理念	交通事故のない安全・安心な栗東を目指します。
計画の目的	交通安全対策基本法第 26 条第 1 項の規定により、栗東市交通安全対策会議は、県の第 11 次交通安全計画に基づき、市の区域における陸上交通の安全に関する総合的かつ長期的な施策の大綱また、第六次栗東市総合計画基本計画の交通安全の施策を実現するための計画
計画の期間	令和 3 年度から令和 7 年度までの 5 年間



踏切道における交通の安全
踏切道の交通安全についての目標(P30)
○ 市内において踏切事故ゼロを目指す。
講じようとする施策(P30)
踏切道に進入する車両等の一時停止の明瞭化の取組を強化します。